

地域振興にGIを使うには？

大友信秀

現状（石川県の例から）1

- 「加能がに」を知っていますか？
 - タグはたくさんあったほうが良い？
- 「加賀野菜」の使い方
 - 指定した野菜（レンコン、さつまいも等）以外には排他権は及ばない
- 「五郎島金時」
 - お菓子用の商標はすでに他者に取得され

現状（石川県の例から）2

- 「九谷焼」
 - 土と絵付けと窯焼きと、どこまで地元である必要があるのか？
- 「白山菊酒」
 - 菊姫や天狗舞のほうが有名
- 「氷見のブリ」
 - 獲れるのは能登半島（石川県）なのに

なぜGIを活かせないのか？

- 土地や地名への誇りが希薄？
 - 江戸時代からの名前と現代の地名とが違う？
- どう活かすのか、という視点がない？

GIを地域の資源にするには

- すでに市場で認識されているGIの場合
 - 品質を守る工夫
- これから市場に周知していくGIの場合
 - GIを使う目的の明確化
 - 地域の理解・共感
 - マーケティングとブランディング